

別紙

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	37.5		37.5		37.5	
備蓄米						
飼料用米						
米粉用米	0.0285		0.285		0.285	
新市場開拓用米						
WCS用稲						
加工用米						
麦	0.478		0.478		0.478	
大豆	0.442		0.442		0.442	
飼料作物						
・子実用とうもろこし						
そば	0		0.01		0.01	
なたね						
地力増進作物						
高収益作物	2.83		2.9		2.9	
・野菜	1.73		1.75		1.75	
・花き・花木	1		1.05		1.05	
・果樹	0.1		0.1		0.1	
・その他の高収益作物						
その他						
畑地化	0		0		0	

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	野菜、花卉、果樹（基幹作） （別紙1参照）	高収益作物の生産振興 の助成	交付対象面積	（令和4年度） 283 a	（令和5年度） 290 a
2	そば	そば（地域の取り組み に応じた配分）	交付対象面積	（令和4年度） 0a	 10a

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:

協議会名:

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	高収益作物の生産振興の助成	1	14,000	野菜、花卉、果樹(基幹作) (別紙1参照)	助成対象者が助成対象水田において権限に基づいて対象作物を通常の栽培方法により栽培した場合に作付面積に応じて助成する。
2	そば(地域の取り組みに応じた配分)	1	20,000	そば(基幹作)	助成対象者が助成対象水田において、そばを実需者等との販売契約に基づき作付した場合、助成単価に基づき助成する。

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

作物リスト（出荷・販売目的で作付けしたものに限る）

（整理番号1：対象作物）

野菜：エダマメ、カボチャ、カリフラワー、キャベツ、きゅうり、小松菜、ゴーヤ、ササギ、サツマイモ、サヤインゲン、サヤエンドウ、ジャガイモ、春菊、スイートコーン、ズッキーニ、大根、たまねぎ、チンゲンサイ、トマト、ナス、ニンジン、ネギ、野沢菜、はくさい、ピーマン、ブロッコリー、ほうれんそう、ホンウリ、ミョウガ、モロヘイヤ、レタス、セルリー、ケール、アスパラガス

花卉：カーネーション、菊、シクラメン、トルコギキョウ、ラナンキュラス

果樹：ブルーベリー、醸造用ぶどう、ぶどう、りんご、もも、かき、うめ